

梱包ガイド

電子機器



電子機器 製品および部品

タブレット、コンピューター、部品などの電子機器は壊れやすいため、衝撃などのダメージから保護しなければなりません。

通常、小売用包装では、輸送中に十分な保護を得られません。DHLでは、すべての電子機器の輸送に、ボックス・イン・ボックス梱包を使用することを推奨しています。

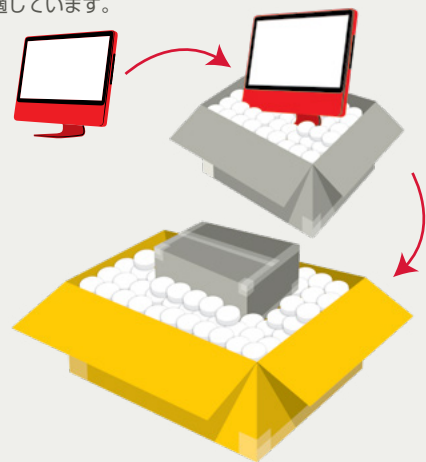


推奨されるボックス・イン・ボックス梱包方法

- 輸送する製品をよく調べ、損傷の兆候がないか確認してください。
- 製品を、もともと入っていたメーカーのパッケージに、内部緩衝材を用いて再度収納します。
- もとのメーカーのパッケージがない場合や、損傷して使えない場合は、製品を気泡緩衝材で何重にも包み、最低6cmの厚みの緩衝材の層で製品を保護します。
- 内箱のすべての寸法より少なくとも14cm以上大きい頑丈な外箱を用意します。この箱は、製品を十分保護できる強度があるものでなくてはなりません。重量のある製品の場合は、二重構造の頑丈な箱を推奨します。
- 外箱の底部には6cmの高さまで緩衝材を詰めて、その上に内箱の荷物を置いてください。内箱と外箱の間に最低6cmの空間があることを確認してから、内箱の周囲に緩衝材を詰めます。すべての空間や隙間を埋めることで、内箱が適切に保護されます。
- 別の方法として、発泡スチロールのコーナーパットを使用して、外箱と内箱の間の空間を十分に保つこともできますが、これは上記に比べて効果が少ない選択肢となります。
- 箱のふたを閉じて、感圧接着テープをH型に貼って封をします。

ボックス・イン・ボックス
梱包（箱入りの荷物を梱包する） 保護レベル：■■■

壊れやすい物、小さい物、薄い物、形状が不規則なもの（花瓶、ガラス製品、照明装置、回路基板など）に適しています。



注記： 静電気防止環境で梱包された電子機器を輸送する場合、同様の環境で再梱包できる場合を除き、製品の損傷チェックは行わないでください。代わりに、内箱パッケージに裂け目や衝撃などの損傷の兆候がないか確認してください。

製品別の梱包方法

製品	特別な方法	
ノートまたは デスクトップパソコン	アカウント番号をお持ちで無いお客様でも発送が可能な場合があります。詳細はDHL カスタマーサービスまでご連絡ください。	
データ保存デバイス	ディスク保存デバイスには、ボックス・イン・ボックス梱包が推奨されています。 フラッシュメモリーデバイスなどの壊れにくい保存機器には特別な梱包は不要ですが、運送状ラベルがよく見える位置に貼れる、十分な大きさの梱包資材を使用してください。	
テレビまたはモニター	テレビまたはモニターは、メーカーのパッケージに発泡スチロールなどの緩衝材を使用して完全に梱包してください。 メーカーのパッケージは航空輸送のために設計されていないため、ボックス・イン・ボックス梱包を行うことを推奨します。	
携帯電話機 およびタブレット端末	お客様がご自身で用意する梱包資材を使用される場合、頑丈な二重構造の段ボール箱を用意し、機器の周囲最低6cmの空間に、気泡緩衝材などの適切な緩衝材を詰めてください。 このような機器には、厳格な輸送規定の対象となるリチウムイオン電池を含んでいることがあります。詳しくは、> DHLカスタマーサービスまでお問い合わせください。	 電源ボタンが誤作動しないようテープを貼っておきます。 
壊れやすい 電子機器付属品	輸送する製品のサイズと重量に適した二重構造の段ボール箱をお使いください。 製品は箱の側面から少なくとも6cm離し、製品と箱の隙間に緩衝材を適切に詰めて梱包してください。 1つの箱に複数の荷物を入れて輸送する場合は、それぞれの荷物が互いに接触しないようにして入れてください。さらに保護力を高めるには、ボックス・イン・ボックス梱包を行ってください。	
壊れにくい 電子機器 付属品	一重構造の段ボール箱は、軽量の荷物に適しています。パッケージを小売陳列用に使用する必要がある場合、パッケージの外面に傷がつかないように、二重に梱包することが必要です。	

リチウムイオン



リチウムイオン電池の規定

リチウムイオン電池の輸送は、国内および国外の輸送規定に従って行わなければならない。詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。

または、

までお問い合わせください。

ヒント: データセキュリティを考慮し、電子機器に保存されている機密情報などのデータは、輸送前に削除するか暗号化しておくことをお勧めします。